



No11. 2025. 1. 31

我が家には、ぴっぴで4年間過ごした、今高2と中3の息子がいます。卒園して気づけば11年と9年になるのかあ、早い！です。在園の頃、上の子（うた）も下の子（さく）も母（私）にべっったりで、ぴっぴの親子参加の行事で、歩きにくいくらい常にくっついている…ぴっぴでこんなに母から離れない子どもは見たことない、といまだに思うくらいです。日常のぴっぴでは、朝別れると楽しそうに過ごして帰るのですが…。さくがおおくり保護者保育参加のときは、まゆさんから「普段のさくが見られないので（母がいると）、なしにしましょう」と言われても「そうですよね」という感じでした。何がそんなに不安なんだろう、と思うほど、とにかく足にしがみついたり、動きづらい、文字通りべったりだったのです。

場所や人に慣れるのに時間がたくさん必要な子どもたちでした。卒園した後うたは、小学校に違和感を覚えて、行ったり行かなかったり、保健室に行って保健室の先生に挨拶して帰る、や、給食を食べて帰る、などしていましたが、5、6年生の時は、学校に行く意味がわからない、と言い完全不登校（でも行事にはほぼ参加）に。行かない選択をしながらも、行っていない後ろめたさや、学校に行く自分をどこかで願っているようにも感じて、学校のことでこちらから言えることはないな、いろんな気持ち、自分で抱えてると感じました。なので、元気だったら万々歳。おはよう、おやすみ、いってらっしゃい、ただいま、いただきます、ごちそうさまを言いあって、安心して食べられるごはんの時間、安心して眠ることのできる空間、他愛もない会話で笑いあえる家時間を過ごすことが、家族ができることだなあと感じました。えりんこピッチやぼろぴっぴには参加して、「1、2週間ぶりに会うと、友だちとの会話が下手になってる」と気付いたりしていました。

さくは、小学校は嫌と言いながら皆勤賞くらい行く、という感じでしたが、嫌な思いが溢れて休みたい、という時期もありました。

そんな2人ですが、うたは今、東京で一人暮らしをしながら高校生活を送っています。さくは、今年度、スピード感が増して、自分にとっての"楽しむ"をテーマに、中学校のイベントを企画したり、卒業のテーマに自転車を選んで、以前から行っていたチャリ旅にさらに積極的に参加して、スタッフとしての参加も提案してもらって参加したり、一人チャリ旅をしたことがない、と企画して東京に行って来たかと思えば、友だちと2人チャリ旅したことがない、とあっという間に横浜に行ってみたり。ここしかない、という日にちを抑えて実行していて驚かさ

れます。ただ、いろんなことを感じる日々に、悩みも壁のようなものもあるようで、それを癒すかのようにアコースティックギターを始めてみたり。わたしは、そんな2人を眩しく見ながら、応援している日々、かなと思います。応援するしかない、ここに味方がいるよ、大変なこともあるよね、でも必要だった、と思える時がくるよ、きますように、と願いと祈りを込めて。

それは、ぴっぴの子どもたちにも同じだなあと感じます。いつだって応援しているよ。

最近さくに、ぴっぴってどんなところ？を聞いてみました。

遊びに行ってたけど、今思うと、意識しないで学んでた場所
意見を言うとか必要なこと教わっていた
とおしえてくれました。

さくは4月から愛媛の高校へ。

あんなに母にくっついてた2人は今は懐かしい思い出の中。必要な時間だったね。

：わたなべはるこ

木 森で"あそぼう! ぶろう! みつけよう! 2月

冬の森。子どもたちの姿以外に静かに眠っているようですが、じっくりゆっくりと森を見渡すと、小鳥たちの姿がみえてきます。春や初夏のように美しい歌声(さえずり)は聞こえないものの「チッ」チチチ...♪という小さな声や 群れになって草むらから飛びたつ姿がよくみられます。氷点下の自然の中でも小鳥たちは草の種などを食料にしたり、鳥によっては木の実に蓄えたりして

冬の季節を生き抜いていきます。とはいえ、やはり冬は

鳥たちにとっては餌の少ない時、こんな季節

だからこそ、度に餌台をつくって、鳥たちを

招待してみたいかがでしよう。近くでみる

ことで、鳥たちの習性や 性格! など

みえて楽しい日々になりますよ♪

春、また自然

の中に餌が

増えてきたら

片付けることも

忘れずに♪

(葉の裏...)

近までくると、シジュウカラは意外と警戒心が強く、すぐ逃げてしまいます。



ペットボトルなどを使ってバードフィーダーをつくれます。穴をいくつか開け、木の実にいれて止まり木もつけて♪

ラード(牛脂)などをネットなどにいれて吊ると、キツツキなどがやってきます



ツグミ



シジュウカラ

森にもなる餌台 1m以上の高さにすると、多面などに狙われにくい。

水もおいてあげましょう♪ 水あびもみられるかも。

ひまわりや どんぐりの種をいれて、いつのまにかリスが占領していることも...

里予原や 森の縁には、こんな草たちがドライで残っていて、その小さな種を小鳥たちは食料にして冬を生き抜いているのです。

ツキミソウ

ナギナタ
コウジ

ヨモギ

アヲコノグサ